

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

アロマセラピーを用いた癒しの活動報告と看護ケアとしての有用性

2. 研究の対象患者

2017年8月～2017年10月の期間に入院し、乳がん手術にて1週間程度の入院期間を必要とし、ご本人の希望・了承のもとで「アロマdeハンドケア」が実施された患者さん

3. 研究の対象期間

2017年8月1日～2017年10月31日

4. 研究の概要

A病院5階西病棟は女性外科病棟であり、「感情豊かで細やかな女性らしさ」をテーマに癒しの看護を目指している。過去の取り組みから「看護師と過ごす時間が癒しである」との意見が多く、これを基に病棟スタッフ間で癒しの方法について議論した結果、看護師とゆっくり時間を共有しながら感覚に働きかけることができるアロマセラピーを取り入れることに決まり、「アロマdeハンドケア」と題し、2017年8月よりブレンドオイルを用いたハンドケアを行っている。

5階西病棟に入院する乳がんで手術を受ける患者は、比較的若く、社会的に役割の多い世代の女性に多い傾向にある。外来で乳がんの告知を受け自ら術式決定をして乳房を喪失した患者は、ポディーイメージの変容を乗り越えなければならず、さらに術後補助療法にも不安を抱えていることが多いことにより、乳がん看護認定看護師からの提案に基づき、乳がんで乳房全切除を受けた患者を対象に上記癒しの活動(ハンドケア)を行っている。ハンドケア取入れの背景は、手は触れることに抵抗を感じにくい場所であり、施術中に視線が合いやすいこと、手技が簡便であることなどであり、5階西病棟所属のアロマセラピストがメンバーにレクチャーし練習を重ねることにより、手技が確立されている。

これらの背景のもと、2017年10月に患者から得られたアンケート回答内容について後方視的に解析し、「アロマdeハンドケア」の有用性について検討する。

5. 研究実施予定期間

2018年7月18日～2018年10月31日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

「アロマdeハンドケア」に関する下記アンケート項目

癒されたか、手技、音楽、映像、ブレンドオイルの香り、ハンドケアへの満足度、自由記載

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

・研究責任者：5階西病棟 佐藤 秋絵

・臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)